

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄
公演団体名	ACO 沖縄

内容
<p>【ワークショップ内容】所要時間：95分 /講師6名</p> <p>①沖縄の言葉(方言)「うちなーぐち」を話してみよう！</p> <p>②沖縄の踊り「マミドーマ」を歌って踊ろう！</p> <p>③本公演に向けて</p> <p>リハーサルをしてみよう！（※台本参照）</p> <p>出演者になろう！「マミドーマ」について</p> <p>① 台本を読む前の予備知識</p> <p>「マミドーマ」とは、沖縄県の離島、八重山地方に伝わる農村の労働歌です。竹富島に生まれた働き者の美しい娘(マミドーマさん)のことを歌った内容で、農民たちの農作業の様子を軽快に踊り、五穀豊穡を祝います。</p> <p>「沖縄燦燦」本編の中では、伝統的なマミドーマをアレンジし、速いテンポで踊っています。今回のワークショップでは、伝統的なマミドーマの音楽にのって、仲間とともに働くことや、収穫の喜びを、歌と踊りを通して身体全体で表現し、体験しましょう。</p> <p>② 出演者を決めましょう（実際に出演者を決めるのはWSを終えてからでOK）</p> <p>出演：1～31名（同じ人がいくつかのセリフを受け持っても良い）</p> <p>（カマ7、ヘラ7、クワ5、セリフ&手踊り12、合計31名。人数相談OK）</p> <p>セリフチームは、一人が沖縄の方言を言ったあと、日本語訳を言います。</p> <p>「村人」（前半7名/長いセリフを二人で分けても良い）</p> <p>村人A：（お名前を書き込んでください）</p> <p>村人1：</p> <p>村人B：</p> <p>村人2：</p> <p>村人C：</p> <p>村人3：</p> <p>村人D：</p> <p>「カマ」の踊りをする村人(最大7名)：</p> <p>カマ1</p> <p>カマ2</p> <p>カマ3</p> <p>カマ4</p> <p>カマ5</p>

カマ6

カマ7

「ヘラ(沖縄の農具)」の踊りをする村人(最大7名)：

ヘラ1

ヘラ2

ヘラ3

ヘラ4

ヘラ5

ヘラ6

ヘラ7

「クワ」の踊りをする村人(最大5名)：

クワ1

クワ2

クワ3

クワ4

クワ5

「村人」(後半5名)

村人4：

村人E：

村人5：

村人F：

村人6：

沖縄燦燦の出演者：5名(本番に出演する役者さんです)

サンラー：比嘉大志

カナー：上原唯

カマド：知花小百合

ウトゥー：伊集春華

チラー：古謝渚

沖縄燦燦プロローグ「マミドーマ」台本-----

沖縄の楽器、三線(さんしん)の音が聞こえてくる。

最初の村人(生徒)が出てきて、元気な声で！

村人A「ここは140年前の沖縄。小さな村に朝が来ます。

村人たちが、クワとカマとヘラを持って畑にやって来ました。」

コケッコ〜！と、ニワトリの鳴き声がすると、

また、村人(セリフチーム)が何人か出てくる。

村人1「はいさーい！(女子の場合は「はいたーい！)」」

村人B「こんにちはー！」

村人2「イー ワーチチ ヤンヤー」

村人C「いい天気だねえ」

村人3「チューン、チバラナヤー」

村人D「今日も、がんばろうねー」

全員 「ヤサ！（沖縄の掛け声。そうだね！という意味）」

カマド「しんかぬちゃー、ゆーでいくーわー、みんなを呼んでこよう！」

全員 「おー！」

マミドーマの音楽が大きくなる。

セリフチーム、舞台後方に下がると、踊りチーム全員出てくる。

(本公演当日のリハーサルで隊形移動の練習をします。すぐに覚えられます)

音楽のテンポが上がり、畑を耕す踊りが始まる。

サンラー「イヤササ」

村人たち「ハイヤ！」

「カマ」の踊りを踊る。

「ヘラ」の踊りを踊る。

「クワ」の踊りを踊る。

出演者全員で、種まきの踊り。

月日がたち、稲が育つ。

サンラー「一年かけて、稲が実ったさー！五穀豊穡(ごこくほうじょう)の喜び
をみんなで歌って踊らな！」(意味・うたっておどろう！)

全員 「やさ！」

「稲しり節」が聞こえてくる。

五穀豊穡の喜びを祝い、全員で踊る。音楽終わる。全員で拍手。

村人たち、話を始める。

チラー「あきさみよー！みぐとみぐと！いやーすごいすごい、見事だねー！」

村人4「クトゥシン、ツクイムジユクイ ディキティ、イッペーウツサンヤ、フ
クラサンヤー」

村人E「今年も豊作でとっても嬉しいね、豊かで誇らしいねー」

村人5「ナー、ユマングィ ナトーグトウ、ケーラヤー」

村人F「日が暮れたから、帰ろうか。」

村人6「サンラー、また、あちゃーやー！」

全員 (口々に)「また明日ねー！」「また、あちゃーやー！」

全員、着替えの場所まで元気よく退場。

照明が暗くなり、夜になる。サンラーがひとり、舞台に残る。

(本番当日のリハーサルで、道具を置く場所、着替える場所、舞台鑑賞する席の場所を確認します。すぐに本番が始まってしまうので、着替えは静かに、着席するときも、忍者のように静かに。)

波音が静かに響く。明け方。バイオリンの音色が始まる。

～「沖縄燦燦」本編開始 _ (本編 55 分)

タイムスケジュール (標準)

【ワークショップ当日の流れ】

- ①ご挨拶、本公演会場(体育館、搬入口など)の下見など(60分)
- ②対象生徒へのワークショップ(95分)
- ③ワークショップ終了後、本番当日の流れについてお打合せ(40分)

派遣者数

6名

学校における事前指導

1. ワークショップへの参加人数に制限はなし。
2. ワークショップまでに、本公演で役者さんと共演する生徒を決めていただく。
ただし、舞台の大きさの都合上、1名～31名まで。
3. 沖縄燦燦バージョンの「マミドーマ」を録音・録画し、メールやyoutube 限定公開で各学校に送付。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄
公演団体名	ACO 沖縄

演目
歌舞劇「沖縄燦燦」 ～燦燦と輝く命の輝き！～ ○ストーリー まだ琉球王国と呼ばれたのは140年以上前の話。 漁師の三良は星たちの下、はるかかなた水平線を見つめる。 日が昇り、舟に乗り、沖を目指し、漁を始めた。陸では、加那が三良の無事を祈る姿がある。想いが空を飛び、舟を守った。二人が互いに寄せる気持ちは、少し特別だからだ。村一番頼りがいのある三良と、大人しく内気な加那の、不器用で純粋な仲を賑やかな村の娘たちが密かに応援する。村は小さく貧しいけれど、みんなが助け合いの暖かい心を持っていた。精一杯生きる毎日の中の出来事を喜び、祝い、愛を歌う。

派遣者数
15名

タイムスケジュール（標準）
【本公演当日の流れ】 ①ご挨拶、諸々確認など ②機材搬入・舞台設営 ③リハーサル（※共演する生徒も参加をお願い致します）※45分程度 ④本公演 ⑤撤収 【本公演の内容】所要時間：70分 / 出演者9名 スタッフ6名 ①全校生徒へ5～7分程度のワークショップ ～「沖縄燦燦」エンディングテーマを踊ってみよう！～ ②本公演参加生徒と沖縄燦燦出演者による「マミドーマ」（8分）から、そのままの流れで「沖縄燦燦」（55分）公演 <参考例> 8:30 スタッフ・出演者入り 8:30-12:30（4時間）仕込み・舞台設営 12:30-13:00（30分）子供達リハーサル（※時間帯ご相談可能）

13:00-13:15(15分) 子供達着替え(本番直前)
13:15-13:30(15分) 生徒入场
13:30-14:40(70分) 本公演
14:40-16:40(2時間) 片付け・退室

実施校への協力依頼人員

会場が2階の場合、協力をお願いいたします。

演目解説

第一景 海人

三良はサバニに乗り込み櫂を振るって沖をめざし漁が始まる。

第二景 みやらび商い

三良が獲れた魚を入れた籠を担いで浜に着く、いつものように村の娘たちが賑やかに迎えてくれた。働きものの娘たちはウキウキ箆を頭に載せて魚を売りに街へ行く。

第三景 ヨーカナヨー

森の木陰。想いを伝えあう二人。

第四景 ユイマール(助け合い)

沖縄の村の多くは半農半漁。夜明けには海で働き、昼は田畑で汗をかく。みんなで手を取り、助け合う。三良が家を建てようとするのを、村人みんなで手伝う。家を建てる歌と踊り。

第五景 にいびち(婚礼)

三良と加奈の祝いの儀式。村人たちと祝いの踊り。

第六景 豊年祭

海の向こうから、豊穰をもたらすミルク神がやって来た。

今年も豊年。神様への感謝。

- ・ミルク神の踊り
- ・若衆踊り(中国からの使者を喜ばせたという、祝いの踊り)
- ・花笠踊り。
- ・沖縄の離島小さな武富島の踊り
- ・三良と加奈に赤ちゃんが出来た！子どもをあやす喜びにあふれた踊り。

第七景 沖縄燦燦

この空、この海、この島とともに、私たちは生きる。

「今日がピーは クガニピー もとばしよ ホーユば直れ」

今日という日は黄金のように輝くとても素晴らしい日、平和で豊かな世の中になますように。命の輝きを、お届けします。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

1. ワークショップに参加できなかった生徒さんのために、観劇する全員に向けて、本公演が始まる前の5分間、歌と手踊りのワークショップを行います。本公演の最後で、一緒に声を出して「さんさーん！」という燦燦コールをしたり、手を叩きながら体を動かしたりできるよう、舞台上から役者が子供達へ呼びかけます。
2. 本公演に参加する生徒の人数は1-30人で、沖縄の着物を羽織ってもらい、舞台用のへら、かま、クワを持って踊ります。衣装を着たり、舞台道具を持つことで、より文化や伝統に触れることができます。
3. 本公演に参加する生徒は、本公演当日にリハーサルを行います。

児童生徒とのふれあい

1. ワークショップでは、本物の琉球舞踊の先生から直接、手踊りの指導を受けます。積極的な生徒さんは、歌って踊ってとても楽しく、積極的でない生徒さんでも、本物を間近でみられる貴重な体験になります。
2. 本公演では、本物の役者さんと一緒に舞台に立つことができます。衣装の着方や、舞台道具の使い方も学ぶことができます。